

熱中症を予防しましょう

7月は「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」の重点取組期間です

過去の死亡災害事例からみる熱中症対策

管理が適切でなく、被災者の救急搬送が遅れた事例

月	年代	気温	WBGT値	事案の概要
8	50代	29.9	30.6	屋外で設備の交換作業中、気分が悪くなりその場に座り込んだため事務所でその休憩した。その際は会話もでき意識も鮮明であったが、その後、 突如容体が悪化し、救急車で搬送されるも死亡。
8	40代	32.9	31.0	解体で生じた廃材を手作業で仕分け作業していたところ、 倒れているのを発見され、救急搬送されるも死亡。

自覚症状以上に脱水状態が進行していることがあるので、自覚症状にかかわらず、水分及び塩分の作業前後の摂取及び作業中の定期的な摂取を行うことが重要です。摂取状況について確認を行うとともに、健康状態を確認し、熱中症を疑わせる兆候が表れた場合、速やかな作業の中断その他必要な措置を講ずること等を目的に、作業中は巡視を頻繁に行いましょう。

また、あらかじめ、病院、診療所等の所在地及び連絡先を把握するとともに、緊急連絡網を作成し、容体によっては躊躇なく救急要請を行うことも大切です。

入職直後や夏季休暇明けで暑熱順化が十分でないと思われる事例

月	年代	気温	WBGT値	事案の概要
8	40代	34.0	33.5	炉内補修作業中、被災者が泡を吹いて倒れていたため救急搬送されるも死亡。災害発生日は 夏季休暇（4日以上）後の作業初日 であった。

計画的に暑熱順化期間を設けることが望ましいです。特に、梅雨から夏季になる時期において気温等が急激に上昇した作業場所で作業を行う場合、新たに当該作業を行う場合、長期間当該作業場所での作業から離れその後再び当該作業を行う場合は、通常、暑熱順化していないことに留意が必要です。

その他

WBGT値を実測せず、WBGT基準値に応じた措置が講じられていなかった事例
事業場における健康管理が適切に実施されていなかった事例 などがありません。

WBGT予報値は環境省の熱中症予防情報サイトから確認できますが、実際のWBGT値はWBGT指数計を用いて実測し、WBGT値に応じた対策（冷房・除湿設備の稼働等の作業環境管理、作業時間の短縮等の作業管理、健康状態の確認等の健康管理など）を行いましょう。

The image shows a collage of three web pages related to heatstroke prevention. On the left is the '厚生労働省熱中症予防専用サイト' (Ministry of Health, Labour and Welfare Heatstroke Prevention Special Site) with a blue header and text '職場における熱中症予防情報'. In the center is the '環境省熱中症予防情報サイト' (Ministry of Environment Heatstroke Prevention Information Site) with a blue header and various news items. On the right is a detailed '暑さ指数(WBGT)の実況と予報' (WBGT Actual and Forecast) page showing a weather forecast chart for August 27th with a current temperature of 27.2°C.

厚生労働省熱中症予防専用サイト